

第7回道の駅よこはまエリア事業推進協議会 を開催しました



協議会の様子

第7回道の駅よこはまエリア事業推進協議会を、去る平成31年3月18日（月）に横浜町「ふれあいセンター」で開催されました。

協議会では、地方創生拠点計画に基づき進めている「道の駅よこはま」を中心とした取組について、平成30年度の内容と今年度の予定に関する説明があり、参加された委員の方々と意見交換を行いました。

①平成30年度の新たな取組報告

観光企画の強化の一例 （レストランの魅力アップ）

【ホタテフェアの開催（3月2日～10日）】

・冬期の誘客対策とホタテの産地PRとして、ホタテフェアを開催し、ホタテ刺身定食や酒蒸しなどの限定メニューのほか、既存のホタテメニュー（びっくりホタテフライなど）を100円引きで提供しました。

期間中は道の駅への来客と売り上げが増加し、好評のうちに終了しました。



▲ホタテ刺身



▲酒蒸し



▲ホタテ刺身定食

特産品による商品開発・ブランド化の一例 （PRや売場の工夫・改善）

【インターンの大学生による特産物 加工品に関するガイドブック作成】

・道の駅の売り場や町外での物販の際に、加工品の良さやこだわりを、お客様に伝えることができるような内容を記載したガイドブックの取りまとめと作成をインターンの大学生に行っていました。



▲大学生による加工グループへの聞き取り状況



▲完成した商品ガイドブック

買い物や休憩、憩いで賑わう空間づくりの一例 （三保川公園や町の施設の利活用など）

【道の駅周辺案内看板の設置】

・ドライブの疲れを癒してくれるスポットである三保野公園や、よこはま温泉へのアクセス等を案内する看板を道の駅敷地に設置しました。

【青森県内道の駅フェアへの参加・視察】

・道の駅もりたで開催された県内の道の駅フェアに参加し、今年度開業20周年を迎える当道の駅でイベント開催した場合の参考のため、運営・開催方法を視察しました。



▲左側が周辺案内看板



▲道の駅もりた視察

（裏面には、引き続き「協議会の内容」と「第7回協議会での委員意見」を掲載しています）

②平成30年度の取組報告（継続して取り組んでいる内容）

観光企画の強化

- 観光ルート、観光企画の提案として、横浜町を含む広域観光ルートを提案した「上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会」のパンフレットの作成と配布を行っています。
- レストランの魅力アップとして、昨年度も好評をいただいた、横浜なまこフェアを平成30年12月1日から12月16日まで開催しました。



▲好評だったなまこ御膳

買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり

- 各加工団体が交代しながら、道の駅でのイベントを毎月開催しました。（H29～）



（左）バレンタインフェア（中央）もちつき（右）ひなまつりフェア

高齢者など住民への宅配サービス

- 道の駅にある商品（商品カタログ掲載）の無料宅配や道の駅で購入した重い荷物の無料配達を行っています。また、温泉や役場ロビーでの移動販売を実施しています。
- 高齢者の方々については、利用状況を把握し、見守りを実施しています。

地域防災力の強化

- 防災機能の強化として、防災除雪ステーション及び防災備蓄倉庫の建物の設計を実施しました。
- 防災意識の醸成のため、旧大豆田小学校で、横浜町総合防災訓練を実施しました。



▲役場職員・消防署・消防団の初動訓練

第7回事業推進協議会における委員の皆様からの主な意見

■全般について

- 取組状況の周知には時間がかかるが、継続していくことが大事である。
- 防災力を地域としてつけていくように今後も取り組んでほしい。
- 「横浜町の菜の花」のイメージに加え、ホタテやナマコを新たに周知するためにインターネットを活用したPR方法も検討してみてはどうか。
- 横浜町の名産であることを周知するため、地元ブランドを確立し、他の地域との個別化を図る工夫（見せ方）が必要になる。
- 移動動物販の継続については、引き続き取り組んでいただきたい。

■防災について

- 防災除雪ステーションが今後整備されるのを契機に、県と町の除雪体制を緊密にしてほしい。

＼ホームページで情報をご覧になれます／

道の駅よこはま 地方創生 検索



平成28年3月に策定した基本計画の内容やそれを実現させるために実施した取組について掲載しています。

○お問い合わせ先○

「道の駅よこはまエリア事業推進協議会」事務局

● 横浜町 産業振興課

電話 0175-78-2111